

転倒

温泉に入るとは私の楽しみの一つです。テニスの無い時で、かつ天候が悪く、農作業(庭いじりなど)も出来ないときは大抵近くの温泉施設に行きます。この場合、昼食を兼ねることが多いので、御風呂だけでなく食事の美味しいところを選びます。

2010年12月13日御前山(常陸大宮市)の四季彩館という市営の施設に行った。到着が12時過ぎだったため、直ちに昼食を頂いた。いつもの通り、ビール大ジョッキと、今回は四季彩弁当を頂いた。弁当には、このあたりで有名な蕎麦もあって、なかなか美味しいものでした。

休憩所では上手なカラオケの声も聞こえてきます。カラオケの音を背にして早速風呂に入り、上気分で時を過ごしました。露天風呂は外気温が低くとても快適でした。深く沈んだり、半身浴をしたりして40分~50分の間浴槽に居ました。そろそろ一度出ようと思いつち上がると、立ちくらみの様な現象になったので、いつものように頭を下げて(腰の屈伸運動)回復させようと思いました。少し回復が遅いと感じましたがそのまま内風呂を通して更衣室まで行こうと思いました。しかし内風呂の中で再び立ちくらみの状態になったので、その場で再び腰を曲げて、回復を試みました。このときから以後の意識はありません。...

大丈夫ですかという大きな声に気が付き目を開けると内風呂の入り口付近に倒れていました。大勢の方が近寄ってきてくれました。血が出ているという声も聞こえました。だんだんと自分が倒れたのだという認識が強くなりました。救急車を呼びましょうという声が聞こえたので、咄嗟にいいですよと言いましたが、現状はかなりひどく、直ぐに救急車が呼ばれました。

救急車が到着するまでの間、温泉施設の多くの係りの方が介抱してくれました。発汗が激しくバスタオルで体を拭いてくれているが、血圧測定、体温測定など、必死に介抱していただきました。顔色が大分良くなりましたねと言われた時には、本人も大分楽になったような気がしました。しかしながら、意識が回復してから痛いとか気持ちが悪いとか、吐き気がするといったことは全くありませんでした。

救急隊の方は私が立ち上がるのを抑えて、椅子に座らせたまま、私の両手を握って、強く握り返してください、つま先の感覚はありますか、気持ちは悪くないですか等の問診と体温、血圧等の測定を素早く行って、ストレッチに載せました。救急車の中でも、心拍などの連続測定に加えて、定期的な血圧測定と問いかけ(気分はどうか、変わりありませんか)を繰り返してくれます。

病院に到着すると、問診、外観検査、身体計測を済ませて、主治医が到着したところでようやく救急隊は引き揚げていきました。その後、頭の出血部の麻酔とホチキスのようなもので頭を5箇所縫いつけ、頭部のCT撮影後、大きな異常が無いということで、自宅により近い病院への紹介状を書いていただきタクシーで再び四季彩館に戻りました。タクシー代が5000円弱かかった事から、かなり遠くの病院まで運ばれたことがわかります(常陸大宮済生会病院)。

四季彩館にお礼と報告をして、妻の運転で自宅に向かいました。家に着いたのは午後6時頃だったと思います。ずいぶん長い温泉となってしまいました。

次の日、紹介してもらった水戸ブレインハートセンターにて再びCT検査などしてもらいましたが、特に異常は認められませんでした。したがって、今回の倒れた原因はアルコールによる脱水症状と長湯による血圧の低下が重なって、貧血状態になって倒れたものと思われる。

元気になったので担当の医師に運動(テニス)の可否を問うたところ、先生はしばらく考えた上、もし、運動して、縫った場所を再び傷つけるようなことがあってはいけないので、抜糸までは(運動は)控えるようにとの返答でした。このことによって、テニス仲間には事の次第を打ち明かさざるを得なくなりました。

ところが、温泉での転倒事故についてシニアテニスの仲間に、話していくうちに、私も温泉でとか、私の家族がとか風呂でまたは風呂以外でも、倒れたという話が多く反ってきたことに驚きました。

これまで私は3度の麻酔(手術)以外で自分の意識が亡くなるという経験はありませんでした。転倒は初めてのことでしたが、この立場に立って見ると、世の中には同じような経験をした人がかなり多く居る事が判りました。

その後、頭部精密MRIの検査でも異常は認められず、テニスも元通りにやっていますが、風呂に入るときには時間と、温度、さらにアルコール等を気にするようになりました。倒れて、またひとつ賢くなったような気がします。

